

## 長野県松本蟻ヶ崎高等学校 令和7年度 自己評価表

### I 教育目標

教育方針	学校教育目標
1 日本国憲法と教育基本法に則り、自由・平等・博愛と自主・自立・自存の精神を涵養する。  2 より文化的で、暮らし易い社会の形成者として、希望と未来のある世界の構築に実践的に参画することの出来る、個性豊かな人材を育成する。	1 日々の授業を重視しながら、部活動との協調的展開を志向する。 2 生徒の多様な進路希望を実現すべく、創意工夫と相互協力を旨とした教育を実践する。 3 生徒の自主活動を効果的に支援し、偏りの無い人間像の確立に努める。 4 いじめや体罰のない、生徒が安心して学校生活をおくることができる安全な学校づくりをする。
	今年度の重点目標
	1 文武両道を目標とした時間の有効活用を図る 2 多様な進路実現に向けたカリキュラムの改善に取り組む 3 主体的な挨拶と清掃に取り組む 4 安心安全な学校を目指す

### II 今年度の重点目標に対する「評価項目」

#### 【1 文武両道を目標とした時間の有効活用を図る】

- (1) 生徒が自ら具体的な学習目標を持つことができるよう、教科指導と進路指導を行う。
- (2) 部活動や生徒会活動に積極的に参加しながらも、家庭学習の時間を確保できるよう環境づくりを進める。

#### 【2 多様な進路実現に向けたカリキュラムの改善に取り組む】

- (1) キャリア教育の観点から、生徒の主体性を育み、協調的・発展的助言をする。
- (2) 進路実現にかかわる有効な情報・資料等を的確に提供する。
- (3) 外部の講師による講演会等を実施し、生徒の進路意欲を喚起する。

#### 【3 主体的な挨拶と清掃に取り組む】

- (1) 気持ちの良い挨拶が出来る校風をめざし、良好な人間関係の構築を促進する。
- (2) SDG s に対する意識を喚起し、無駄の削減や、ゴミの処理量を減少させる。
- (3) 生徒が主体的に清掃を行う姿勢を育成する。

#### 【4 安心安全な学校を目指す】

- (1) 安心、安全な学校づくりをするため、保護者懇談会等を利用して状況を共有する。
- (2) いじめ・体罰の未然防止のため、常に生徒・職員の意識の啓発に努める。

## 【係】

## 教務

	評価項目(重点活動)	評価の観点(到達目標)
教務	1) 授業や行事、会議等が円滑に行われるように努める。 2) Teams や C4th を利用して業務を円滑かつ効率的に行う。また、連絡が各職員にスムーズに伝わるようにする。	1) 授業時間の確保と、行事内容の再考を進めつつ、各部署との調整を行うことができたか。 2) 職員間の情報共有が円滑に進められたか。

## 情報

	評価項目(重点活動)	評価の観点(到達目標)
情報	1)成績処理や生徒情報の取り扱いを円滑に行う。 2)情報通信技術 (ICT) 環境の整備	1)データの流失や紛失、出入力の誤りなどを防ぎながら、校務支援システム等を用いて円滑な運用ができたか。 2)必要とされる ICT 環境が整備できたか。

## 渉外

	評価項目(重点活動)	評価の観点(到達目標)
渉外	1)「開かれた学校づくり」を PTA の立場からもすすめ、日常の活動の活性化を図る。 2)同窓会と学校が連携し活動をおこなう。	1)①会報発行など全会員に PTA 活動の情報発信ができたか。 ②PTA 本会及び学年 PTA の充実ができたか。 2)①諸活動の中で同窓会と学校の連携ができたか。 ②生徒会、PTA、学校、同窓会で実施される四者協議会での連携の充実はできたか。

## 保健安全（保健）

	評価項目(重点活動)	評価の観点(到達目標)
保健	1)心身の健康管理を適切に行う	1)生徒健康状況や治療状況を把握し治療勧奨や適切な健康管理・健康相談ができたか。 「心の健康問題」においては担任、生活指導、支援委員会等との連携が適切にとれたか。
	2)健康教育の充実	2)保健だよりや保健委員会活動等などを通じて、充実した健康教育を行う事ができたか。
	3)環境衛生活動の充実	3)環境衛生の定期日常点検が適切に行われたか。 検査、点検の結果、改善されたか。

## 保健安全（清美）

	評価項目(重点活動)	評価の観点(到達目標)
清美	1) 校内外の清掃を徹底することで、衛生面の配慮も含め、学びやすい環境を整え、生徒の自主的な清掃活動を育成する。	1) 清美委員会の自主的活動を活性化させるとともに、全校生徒による校舎内外の美化と学習環境の整備につとめることができたか。コロナ対策を継続しながら、生徒の自主的な清掃活動がきちんと実施できたか。
	2) 環境や資源に対する意識を向上させ、ゴミの減量・分別の習慣を生徒に定着させ、ストックヤードなどの管理を通じて、委員会生徒の自主性を育てる。	2) 日常の清掃活動、ゴミの分別・減量、ストックヤードの管理など、生徒主体の活動として委員会を中心に行うことができたか。

## 保健安全（園芸）

	評価項目(重点活動)	評価の観点(到達目標)
園芸	1) 中庭花壇の除草	1) 園芸委員会が協力して除草作業を計画的に行うことができたか。
	2) 中庭花壇の管理	2) 園芸委員会の年間活動が計画的で充実した内容になるように行うことができたか。
	3) 式典用の装飾	3) 卒業式・入学式における式場の装飾を行うことができたか。

## 生徒支援

	評価項目(重点活動)	評価の観点(到達目標)
生徒支援	1) 生徒が安心、安全に学校生活を送れるようにするために、日々様子を伺って行く。	1) 挨拶の励行ができたか。 2) 校内の見回りとマナー（交通安全、スマートフォン、貴重品管理）に関して、注意喚起の実施ができたか。

## 教育相談

	評価項目(重点活動)	評価の観点(到達目標)
教育相談	1) 学校生活において支援を必要とする生徒への適切な対応	1) 支援委員会と連携し、全教職員と情報共有を図り、生徒支援を共通の課題として取り組むことができたか。 2) 生徒相談室の運用が円滑に図られ、カウンセリングなど相談態勢をとることができたか。

## 生徒会

	評価項目(重点活動)	評価の観点(到達目標)
生徒会	1) 学校行事を通じて人間力を高め、人との絆や信頼を形成し、生きる力や自己肯定感を育てる。 2) 自治活動・自主活動の機会を保障する中で、地域社会や環境活動への広がりを持った取り組みを行う。	1) 各行事で自分の役割を認識し、生徒会やホームルーム活動に貢献できたと感じる事が出来たか。文化祭生徒アンケートでA評価をつける生徒が7割を超える。 2) 自分たちに出来る、ボランティア活動・地域活動・環境問題への取り組みができたか。

## 進路指導

	評価項目(重点活動)	評価の観点(到達目標)
進路指導	1) キャリア教育の観点から、3年間を見通した体系的かつ効果的な進路指導を行う。  2) 必要な時期に、必要な情報・資料を、効果的に提供する。	1) 時機に応じた効果的な講演会・学年集会を計画し、実施できたか。 2) 全国的な進路傾向、大学入試システムの変更に対応した進路指導方法を研究・実践できたか。 3) 各学年で複数回の進路検討会をもち、生徒個々に寄り添った指導ができたか。  1) 学年毎に進路・学年通信を発行し、的確な情報提供ができたか。 2) 生徒の進路意識を喚起し、学校全体が学習に向かう雰囲気作りに努めることができたか。 3) 生徒・保護者が利用しやすいよう、情報や資料を提供することができたか。

## 学習

	評価項目(重点活動)	評価の観点(到達目標)
学習	1) 生徒の学習への意識を高め、基礎学力の定着を図り、知的好奇心を涵養する。  2) 学力向上や進路実現のため、補習授業・特別編成授業・小論文指導の企画運営を行う。  3) 文理選択・科目選択が進路実現に繋がるよう、指導体制を整える。	1) 生徒自身が主体的に学習へ向かう姿勢が身についたか。  2) 生徒の実態に合わせた補習授業・特別編成授業・小論文指導を適切な時期に企画運営ができたか。  3) 適切な時期に、必要な情報提供ができたか。

## 探究推進

	評価項目(重点活動)	評価の観点(到達目標)
探究推進	生徒自ら問いをたて、ICT機器を活用しながら情報を収集し、フィールドワークなどにより自らの力で課題解決していく力を養うための活動を提案していく。	1) 生徒自身が課題を見つけ解決していく能力が身についたか。 2) 自らの課題に応じて主体的にICT機器を活用したり、実践的なフィールドワークが行えたりしたか。 3) 自らの学びや考えを、他者に対して伝えることができたか。

## 図書

	評価項目(重点活動)	評価の観点(到達目標)
図書	1) 質の高い読書力を育成する。 2) 授業との連携をはかる。 3) 図書委員会活動の活性化を進める。	1) 読書環境の整備ができたか。 ① 適切な情報発信・資料更新ができたか。 ② 生徒・教職員の読書環境を整え、向上させることができたか。 2) 各学年・教科・係等と連携を図りながら、授業や特別活動や進路指導に役立つ資料提供ができたか。 3) 生徒の自主性を尊重しつつ、図書委員会活動を支援できたか。

## 視聴覚

	評価項目(重点活動)	評価の観点(到達目標)
視聴覚	1)芸術鑑賞の円滑な運営を図る。 2)合唱コンクールの円滑な運営と内容の充実を図る。 3)視聴覚教室の整備と有効活用を図る。	1)芸術鑑賞が円滑に運営できたか。また、生徒の心に残る鑑賞会となったか。 2)生徒会鑑賞委員会の活動を支援し、生徒が主体的に合唱コンクールの内容の向上に務めることができたか。会場への移動に配慮し、運営が円滑に行われたか。 3)授業や生徒会、クラブ活動等において視聴覚教室が有効に活用されたか。また、自習室としての管理が十分に行えたか。

## 【委員会】

## 教育課程

	評価項目(重点活動)	評価の観点(到達目標)
教育課程	本校のスクールミッションや3つの方針を踏まえて、生徒の進路希望に対応した教育課程を編成する。	十分な情報収集・議論の上で、本校の現状を踏まえた教育課程を編成できたか。

## 予算施設

	評価項目(重点活動)	評価の観点(到達目標)
予算施設	<p>1)令和7年度の希望調査を実施し、予算の範囲内で、適切に調整し対処する。</p> <p>2)施設の老朽化等により安全面での懸念が生じる状況を検討し、予算の範囲内で優先順位をつけ具体的な解決をはかる。</p>	<p>1)各教科、分掌等の意見を取り入れ優先順位を考慮しながら、適切に予算を運用できたか。</p> <p>2)あがってきた問題点について、具体的な解決案を検討し、問題を解消できたか。</p>

## 学校衛生

	評価項目(重点活動)	評価の観点(到達目標)
学校衛生	働きやすい安全な職場環境や健康の保持増進を図る。	<p>1)委員会を定期的開催し問題点を共有できたか。</p> <p>2)職員健康診断(人間ドック)の全員実施ができたか。</p> <p>3)校内の危険個所の点検及び改善ができたか。</p>

## 支援

	評価項目(重点活動)	評価の観点(到達目標)
支援	<p>1)教育相談係、生徒支援係と連携し生徒相談室の運用を行う。支援が必要な生徒に対して指導方針を探り対応していく。</p> <p>2)カウンセラーや医療機関と連携を図り、生徒・家庭・担任・教科担当等との連絡・協議を密にし、情報の共有を図る。</p> <p>3)担当者会議・職員研修等により生徒支援に関する意識を高めていく。</p>	<p>1)生徒相談室の運用が円滑に図られ、当該生徒の指導方針を探り対応できたか。</p> <p>2)他機関との連携を図り、校内で相互の情報共有が図られたか。</p> <p>3)生徒の状況を把握した上で情報を交換し適切な対処ができるよう、職員の意識を高めることができたか。</p>

## 銀河セミナー推進

	評価項目(重点活動)	評価の観点(到達目標)
銀河セミナー 推進	<p>計画する講座に生徒が意欲的に参加し、学力向上・学習成果が実感できるような工夫に努める。</p>	<p>1)セミナーの目的を全生徒へ伝えることができたか。</p> <p>2)セミナーの目的を職員間で共有できたか。</p> <p>3)セミナーを参加して良かったと感じた割合が過半数を超えたか。</p>

## コンプライアンス

	評価項目(重点活動)	評価の観点(到達目標)
コンプライアンス	<p>学校内、職場内の非違行為およびさまざまなハラスメントを防止する。</p>	<p>非違行為やセクハラ・パワハラ等のない、毎日気持ちよく生活できる学校・職場であったか。</p>

## 危機管理対応

	評価項目(重点活動)	評価の観点(到達目標)
危機管理 対応	<p>生徒が安心して学び、教職員が安心して教育活動ができるよう、適切かつ確実な危機管理体制を確立する。</p>	<p>1) 生徒や教職員が安心安全に生活を送ることができたか。</p> <p>2) 危険の予防、迅速な対応、再発の防止に取り組めたか。</p>

## 学校保健

	評価項目(重点活動)	評価の観点(到達目標)
学校保健	生徒が自ら健康を守るための行動選択をする。	1)健康診断で健康状況を把握できたか。 2)保健委員会では三役を中心に行事等における緊急時の対応ができたか。

## 学校企画

	評価項目(重点活動)	評価の観点(到達目標)
学校企画	学校の課題について関係部署との調整を図る。	・現状の課題について議論をすることができたか。 ・検討を進める中で見つかった課題点について、関係部署に割り振りをすることができたか。

## 初任者研修

	評価項目(重点活動)	評価の観点(到達目標)
初任者研修	教材研修 一般研修 課題研究	・生徒にとって主体的・対話的で深い学びとなる授業作りを研究する。 ・生徒がより良い学校生活を送るための学級運営・クラブ運営について考える。 ・生徒の資質・能力を育てることのできる教材・授業を研究する。

## 個人情報管理

	評価項目(重点活動)	評価の観点(到達目標)
個人情報管理	個人情報の管理と取扱い	・個人情報を適切に管理し、取り扱うことができたか。 ・研修等を通じて職員の情報管理の徹底を図る。

## 【学年】

## 1 学年

	評価項目(重点活動)	評価の観点(到達目標)
1 学 年	<p>1)基本的な生活習慣を確立し、自立し充実した学校生活になるよう、個々の生徒理解のもとに支援する。</p> <p>2)進路実現のため、「自ら学び進む」姿勢を育成し、確かな学力を育成する。</p> <p>3)行事・生徒会活動や人権教育を通して、「自分や他者を大切にする」気持ちを育てる。</p> <p>4)自ら考え自ら行動する力を育成し、他者と協調しながら問題を解決する力を育てる。</p> <p>5)IT 機器や教育支援教材（アプリ）の積極的に活用して新たな教育活動に取り組む。</p>	<p>1)心身の健康に留意し、授業はもとより清掃や挨拶などの日々の活動を通じて生徒が充実した生活を送れるように支援ができたか。</p> <p>2)通常の授業を大切にするとともに課題や補習を通して、個々の生徒の到達度にもとづき学習支援をすることができたか。また、課題の内容や分量を教科間の連携のもと精選し、生徒が主体的に学習に取り組める体制を構築することができたか。</p> <p>3)生徒会行事やクラブ活動を通して、思考力・リーダーシップ・協調性・行動力などを育てるとともに、多様性を認めあう人権感覚の成長を支援できたか。</p> <p>4)諸活動を通して、生徒が他者と協働しながら自ら課題を見つけ言語化し、それを解決していく能力の成長を支援ができたか。</p> <p>5)生徒と教師の双方がタブレットなど IT 機器を使いこなす力を身につけることができたか。またデジタルとアナログの双方の長所をいかして、教育活動に取り込むことができたか。</p>

## 2 学年

	評価項目(重点活動)	評価の観点(到達目標)
2 学 年	<p>1)基本的な生活習慣を確立し、充実した学校生活を主体的に送ることができるよう指導する。</p> <p>2)生徒の進路保障のために、基礎学力をつけていくための支援を行う。</p> <p>3)学校行事・生徒会行事や人権教育を通して、「自分および他者を大切にする」気持ちを育てる。</p> <p>4)自ら考え、自ら行動する（自主自立の）力を育成する。</p> <p>5)タブレットの活用を積極的に導入する新たな教育活動に取り組む（を研究する）。</p>	<p>1)心身の健康に留意しながら、遅刻や欠席をせず、授業はもちろんのこと、清掃や挨拶などの日々の活動に気持ちよく取り組むための支援ができたか。</p> <p>2)通常の授業を大切にするとともに課題や各種補習を通して、生徒個々に学習の支援をすることができたか。また、課題の内容や量を教科間で連携をとって精査し、生徒が主体的に学習に取り組める体制を構築することができたか。</p> <p>学習時間調査により、生徒の家庭学習の定着を図ることができたか。</p> <p>3)生徒会行事やクラブ活動を通して、思考力・リーダーシップ・協調性・行動力などを育てるとともに、多様性を認めあう人権感覚を高める指導ができたか。</p> <p>4)諸活動を通して、他者と協働しながら自ら課題を見つけ、それを解決していくための指導、支援ができたか。</p> <p>5)生徒（教師）一人一人がタブレットを使いこなせる力を身につけることができたか。またデジタルとアナログの双方のよさをバランスよく教育活動に取り込むことができたか。</p>

## 3学年

	評価項目(重点活動)	評価の観点(到達目標)
総合	<p>1) 基本的な生活習慣を確立し、充実した学校生活を主体的に送ることができるよう指導する。</p> <p>2) 生徒の進路保障のために、基礎学力・応用力をつけていくための支援を行う。</p> <p>3) 学校行事・生徒会行事や人権教育を通して、「自分および他者を大切にする」気持ちを育てる。</p> <p>4) 自ら考え、自ら行動する(自主自立の)力を育成する。</p> <p>5) タブレットの活用と手書き教材の併用で新たな教育活動に取り組む(を研究する)。</p>	<p>1) 心身の健康に留意しながら、遅刻や欠席をせず、授業はもちろんのこと、清掃や挨拶などの日々の活動に気持ちよく取り組むため、各種の支援ができたか。</p> <p>2) 通常の授業を大切にするとともに課題や各種補習を通して、生徒個々に学習の支援をすることができたか。また、課題の内容や量を教科間で連携をとって精査し、生徒が主体的に学習に取り組める体制を構築することができたか。</p> <p>3) 生徒会行事やクラブ活動を通して、思考力・リーダーシップ・協調性・行動力などを育てるとともに、多様性を認めあう人権感覚を高める指導ができたか。</p> <p>4) 学校生活および校外での活動を通して、他者と協働しながら自ら課題を見つけ、それを解決していくことが肝要である。そのための指導、支援ができたか。</p> <p>5) 生徒(教師)一人一人がタブレットを使いこなせる力を身につけることができたか。またデジタルとアナログの双方のよさをバランスよく教育活動に取り込むことができたか。</p>

## 【教科】

### 国語

	評価項目(重点活動)	評価の観点(到達目標)
国語	<p>1) 主体的な学習態度の育成。</p> <p>2) 的確な学力診断に基づいた国語指導スキルの向上。</p>	<p>1) 生徒による家庭学習(特に授業の予習と復習)は、質量両面で改善できたか。</p> <p>2)-1 シラバスの内容を検討し、適切化をはかり、効果的に運用できたか。</p> <p>2)-2 定期考査及び模擬試験の結果を分析し授業の改善につなげることができたか。</p> <p>2)-3 新学習指導要領に基づく新科目の評価等を的確に行えたか。</p>

## 地歴・公民

	評価項目(重点活動)	評価の観点(到達目標)
地歴・公民	1)授業、補習、特編の内容を充実させ、学力の向上を目指す。 2)個人研修の充実や相互の研鑽を高め、教科指導の充実に結びつける。	1)学力向上に資することができていたか。 2)有効な研修と情報交換が実施できたか。

## 数学

	評価項目(重点活動)	評価の観点(到達目標)
数学	1)基礎学力の定着・家庭学習の確立 2)応用力の養成 3)知的好奇心や論理的思考力の養成	1) 定期的に単元テスト等を実施し、基礎力の定着を図る。また家庭学習を中心に自発的に取り組む姿勢を醸成することができたか。 2) 問題集・参考書等の発展的な問題を積極的に取り組む姿勢と解法力の向上に努めることができたか。 3) 問題解決に向けた数学的な見地を醸成し、それを意欲的に活用しようとする姿勢を伸長させることができたか。

## 理科

	評価項目(重点活動)	評価の観点(到達目標)
理科	1)授業内容および評価の検討・研究 2)基礎学力の定着	1)現行教育課程および観点別評価の実施にあたり、それらに対応できる授業展開ができ、かつ適切な評価をすることができたか。 また、授業の実施方法や教材などを研究することができたか。 2)授業プリントやタブレット教材などの作成、小テストや演習・実験等を実施することにより、基礎学力を定着させ、さらに問題解決能力を育み大学受験にも対応できる学力を身に付けさせる授業が展開できたか。

## 保健体育

	評価項目(重点活動)	評価の観点(到達目標)
保健体育	<p>1)自分の体力を客観的に捉え、補うべき体力を知ると共に、将来にわたって健康を保持増進できる知識と体力を養う。</p> <p>2)心身の健康や安全管理に関心を持ち、自ら健康で安全な生活を実践できるような態度の育成</p>	<p>1)スポーツテストや日々の授業の中で自分の体力の要素を理解し、運動の楽しさを味わい、スポーツを身近に感じることができたか。</p> <p>2)互いに協力してスポーツを実践していく中で、集団における自らの役割ができたか。</p> <p>2)保健を学習する事により、現代社会における健康の問題点を知り、それを解決する方法を学習し、実践することができたか。</p>

## 芸術

	評価項目(重点活動)	評価の観点(到達目標)
芸術	<p>1)生徒が意欲的に取り組む授業の実践</p> <p>2)芸術文化に対する理解を深め、尊重する態度の育成</p> <p>3)生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てる。</p>	<p>1)生徒が、意欲的に取り組める題材設定、授業形態の工夫を行うことができたか。</p> <p>2)諸外国の芸術文化に加え、特に日本の芸術文化に対して理解を深める鑑賞活動を取り入れることができたか。</p> <p>3)表現・鑑賞にかかわる幅広い活動を通して、基礎的な能力を伸ばし、豊かな情操を養うことができたか。</p>

## 外国語

	評価項目(重点活動)	評価の観点(到達目標)
外国語	<p>1)生徒が自ら具体的な学習目標を持ち自主的に英語学習に取り組む姿勢を育成する。</p> <p>2)希望進路実現のために必要となる生徒の英語力を伸ばす。</p>	<p>1)基礎的な事項の定着と言語活動のバックアップをする中で、生徒一人一人に英語学習に対する目標を意識させ、その達成に努力するように指導・助言を行うことができたか。</p> <p>2)共通テストの内容や問題傾向を研究するとともに、他の入試問題の研究、模擬試験等の結果の分析も行い、それぞれに適切な指導・助言を行うことができたか。</p>

## 情報

	評価項目(重点活動)	評価の観点(到達目標)
情報	1)新教育課程の新科目「情報Ⅰ」の計画的な授業展開。 2)情報に関する科学的な見方・考え方の育成。	1) 2025 年度入学共通テストに、新科目「情報」が導入されることをふまえながら、従来の学習内容にプログラミングなど新分野の学習を加え、計画的に授業を展開できたか。 2) 問題の発見・解決に向けて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用するための知識および技能を身に付けさせることができたか。

## 家庭

	評価項目(重点活動)	評価の観点(到達目標)
家庭	1) 生涯を見通した生活を自分事としてとらえ、日常生活に取り組む姿勢を育成する。 2) 日常生活を営む上で必要な技術を習得する。	1) 基礎的な知識・技術の習得と、自分の近い将来、その先のイメージを持ちながら生活を送ることができるように、授業内容を工夫することができたか。 2) 技術を習得できるように実習内容の工夫をすることができたか。